

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
 (仮称)アルク井口明神店

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.6
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.70	-	-			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		-	-	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	-	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.30	3.0	-			
2 温熱環境		3.5	0.35	-	-			3.5
2.1 室温制御		3.5	0.50	-	-			
1 室温設定		3.0	0.50	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	窓U=6.0:レベル1、外壁U=0.617(W/m ² K):レベル5...外壁比率86%	4.0	0.17	3.0	-			
4 ゾーン別制御性	空冷ヒートポンプパッケージエアコン+個別空調スイッチ	4.0	0.33	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式	レベル3+エアー搬送ファンの設置(売場)	4.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-			
1 昼光率		3.0	-	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	-	3.0	-			
3.3 照度		-	-	-	-			
1 照度		3.0	-	3.0	-			
2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-			
4 空気質環境		4.7	0.25	-	-			4.7
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	天井裏を含め、全面的にF☆☆☆☆材料を使用	5.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		4.0	0.30	-	-			
1 換気量	居室は建築基準法必要換気量の1.4倍以上を確保	5.0	0.50	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	売場内禁煙の徹底+従業員用の喫煙室を設置	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.2	0.40	-	-			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	売場天井高さ=3.5m	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高いセラミックタイル床、風除室の設置など	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	洗濯機スペース、生ごみ庫、パッキン庫、雑品庫の設置	4.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種以上にB以上を使用(Eは不使用)	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	-
2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	H=4,000以上	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.092	5.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.3	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性	天井スペースの確保	4.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース	屋上設備スペースに余剰スペースを確保	4.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		北側の駐車場フェンスを全て緑化し、対面する住宅地に配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率空調機器の採用 ERR=0	3.4	0.30	-	-	3.4
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	外壁一部腰壁タイル張り、ビニルシート、ビニル床タイル	5.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	S造躯体+ALC外壁+折板屋根、躯体・設備との錯綜の回避	4.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を一切使用していない消火器を採用	4.0	0.33	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮		高効率の照明器具、空調機器の採用による	3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		4.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3	交通負荷抑制	大規模小売店舗立地法指針を上回る駐車、駐輪台数の確保	5.0	0.33	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの多種分別が可能なおストックスペース、分別回収ボックス、等	4.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.2	0.33	-	-	2.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-	-
2	振動		-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-
3.2	風害、日照障害の抑制		1.9	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	-
2	日照障害の抑制	敷地北側へ駐車場を配置、平屋建てでの建物高さを抑えた施設計画	4.0	0.30	-	-	-
3.3	光害の抑制		1.6	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-